

医療法人和同会宇部西リハビリテーション病院 2 階回復期リハビリテーション病棟で入院治療を受けられた皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

当院では、診療情報等の情報だけを用いる研究を行うときにはオプトアウトという方法をとっています。オプトアウトとは、お一人ずつ文書で説明を行い同意を得る代わりに、情報(研究の概要)を公開し、研究が実施または継続されることについて、患者様が拒否できる機会を保障する方法のことを言います。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、2020年12月末までに下記の間合せ先にお問い合わせ下さい。

① 研究課題名	食事動作の自立に関わる因子の検討		
② 実施予定期間	2020年11月～2021年3月		
③ 対象患者	脳血管疾患、頭部外傷、シャント術後、脳腫瘍、脳炎の診断にて2階回復期リハビリテーション病棟に入院された方のうち、食事に介助が必要だった方		
④ 対象期間	2016年10月～2019年7月に入院された方		
⑤ 研究責任者	氏名	田村かおり	所属 リハビリテーション部
⑥ 使用する資料等	診療記録より得られた以下の情報 年齢、診断名、発症日、退院日、利き手、麻痺側、食事が自立した日 リハビリテーションで実施した以下の検査の結果 摂食状況のレベル、機能的自立度評価法、改訂長谷川式簡易知能評価スケール、Mini Mental State Examination、コース立方体組み合わせテスト、Trail Making Test-A・B、線分抹消試験、線分二等分試験、観念失行・観念運動失行の有無、ブルンストロームステージ(上肢・手指)、簡易上肢機能評価、握力、改訂水飲みテスト、反復唾液嚥下テスト		
⑦ 研究の意義	食事動作の介助量軽減や動作自立に向けた訓練を行うことができる。		
⑧ 研究の目的	食事動作の自立に関わる要因を明らかにする。		
⑨ 研究の方法	自立群と非自立群、介助不要群と介助必要群に分け結果を後方視的に比較・分析を行う。		
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2020年11月12日	
⑪ 結果の公表	学会発表および論文にて公表する。		
⑫ 個人情報の保護	研究対象となった方に情報を公開し、研究参加の可否、撤回ができるようにしています。研究参加の拒否、同意撤回された方に不利益は発生いたしません。 また、個人情報漏洩を防ぐため、本研究では個人を特定できる情報を削除し、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。さらに、本研究の実施過程及びその結果の公表(学会や論文等)の際には、患者様を特定できる情報は一切含まれません。		

⑬ 知的財産権	医療法人和同会 宇部西リハビリテーション病院		
⑭ 利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。		
⑮ 問い合わせ先	医療法人和同会 宇部西リハビリテーション病院 リハビリテーション部 言語聴覚士 田村かおり		
	電話	0836-45-2111	FAX 0836-45-2123